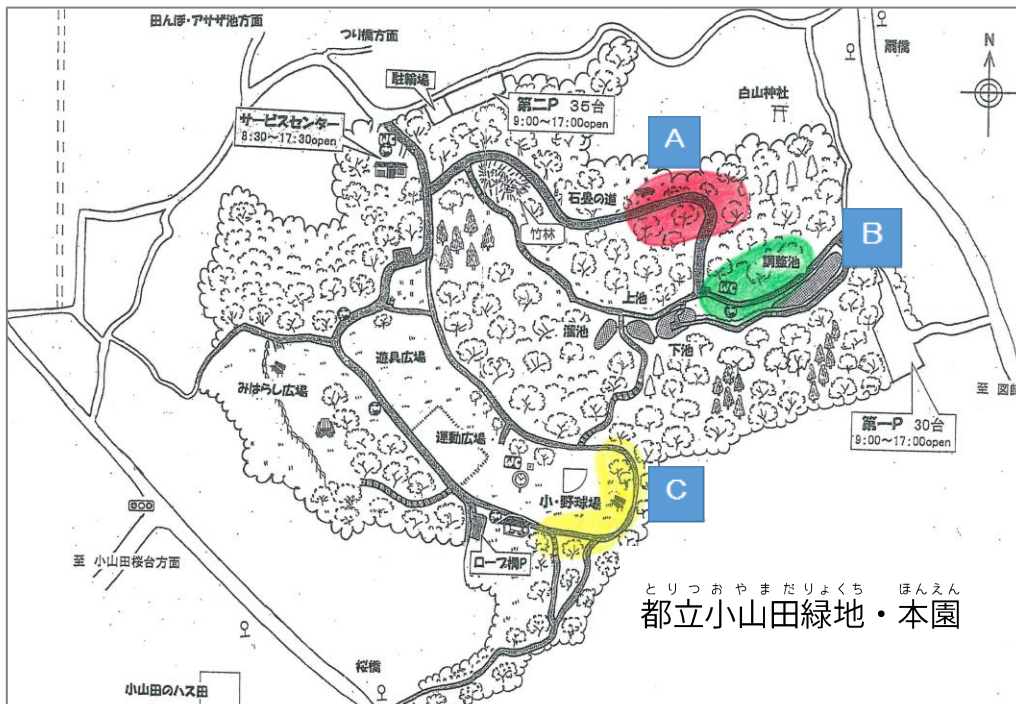


2018年 セミのぬけがら調査結果

まちだエコライフ推進会社では今年も都立小山田緑地でセミのぬけがら調査をおこないました。緑地内の本園でこの夏3回の調査をおこない、集めたぬけがらの数は全部で752個でした。2017年の調査で集めたぬけがらは547個でしたから、見つかったぬけがらが前年に比べて37%増加したということになります。

調査地について

都立小山田緑地は、町田市北西部の自然の豊かな丘陵地にあり、本園と三つの分園からなっています。セミのぬけがら調査は本園（下図）のABCの調査地でおこないました。



調査地A

昔からの里山で、一部クヌギなどの植栽がある。地面はほぼ一面下草に覆われているが、日当たりが良く、明るい場所。

調査地B

昔からの里山で、近くに池があり、全体的に湿気が多く、薄暗い。下草で覆われた部分と、地面が露出した部分がある。露出している地面は固く、コケが生えているところもある。

調査地C

昔からの里山と整備された植栽が両方ある場所。ほぼ一面下草や落ち葉に覆われているが、草が短く刈られているところと、膝丈くらいになっているところがある。



調査地 A



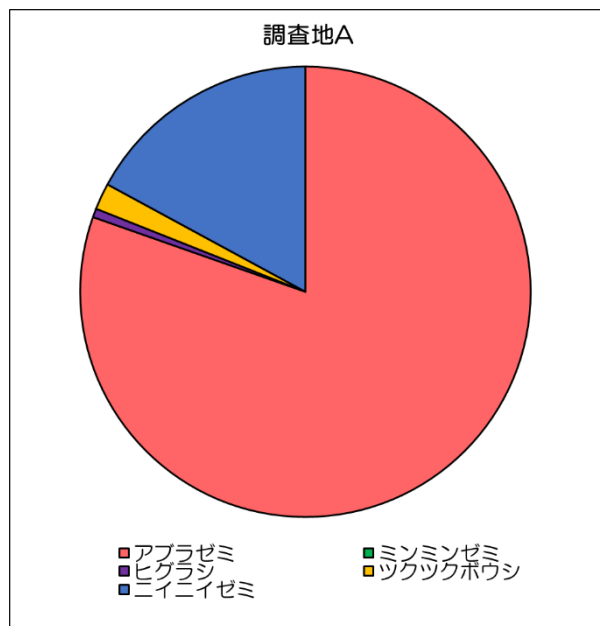
調査地 B



調査地 C

ちょうさち けっか
調査地Aの結果

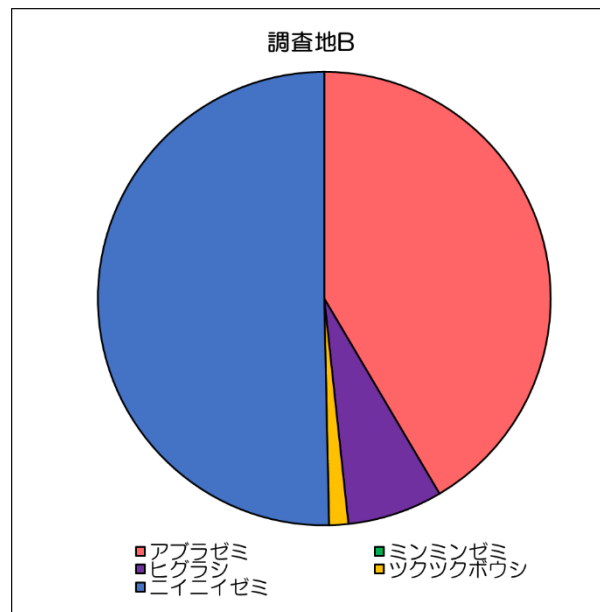
しやうい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月24日	けい 計
アブラゼミ	オス	22	99	16	137
アブラゼミ	メス	3	130	21	154
アブラゼミ	けい 計	25	229	37	291
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス	2			2
ヒグラシ	けい 計	2			2
ツクツクボウシ	オス		3		3
ツクツクボウシ	メス		3	2	5
ツクツクボウシ	けい 計		6	2	8
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニイゼミ	けい 計	50	4		54
	けい 計 合計	77	239	39	355



2回目（8月9日）のアブラゼミが圧倒的に多かった。ほとんどが地面に落ちていたものだった。ツクツクボウシのぬけがらは木の上のほうについていることが多かった。

ちょうさち けっか
調査地Bの結果

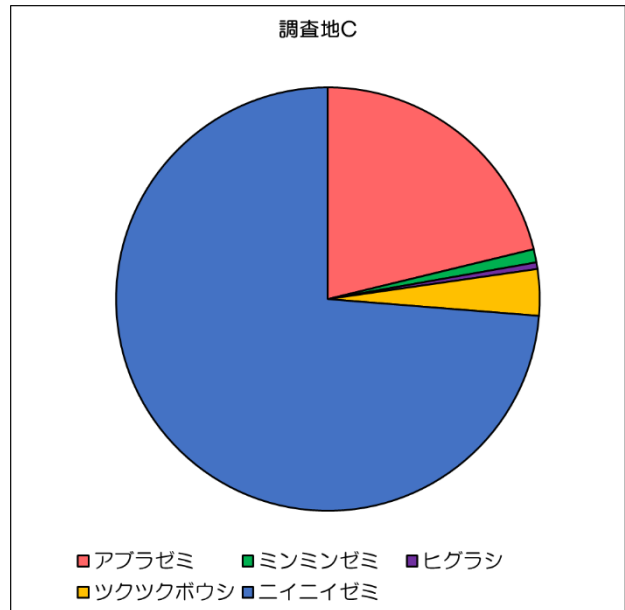
しやうい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月24日	けい 計
アブラゼミ	オス	18	17	3	38
アブラゼミ	メス	5	21	7	33
アブラゼミ	けい 計	23	38	10	71
ミンミンゼミ	オス				0
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計				0
ヒグラシ	オス	5	1		6
ヒグラシ	メス	4			4
ヒグラシ	けい 計	9	1		10
ツクツクボウシ	オス		2	2	4
ツクツクボウシ	メス				0
ツクツクボウシ	けい 計		2	2	4
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニイゼミ	けい 計	65	9	1	75
	けい 計 合計	97	50	13	160



2回目の調査（午後に実施）ではヒグラシの鳴き声がよく聞こえたが、ぬけがらは1つしか見つからなかった。

ちょうさち けっか
調査地Cの結果

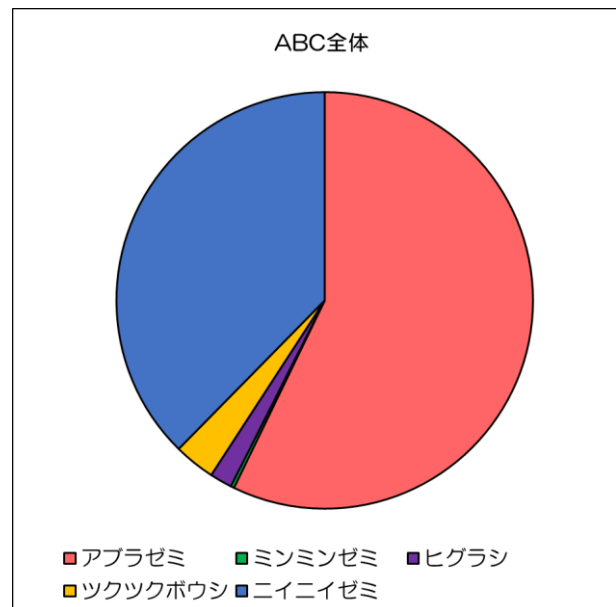
しゅるい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月24日	けい 計
アブラゼミ	オス	5	25	8	38
アブラゼミ	メス		12	18	30
アブラゼミ	けい 計	5	37	26	68
ミンミンゼミ	オス		2		2
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計		2		2
ヒグラシ	オス				0
ヒグラシ	メス	1			1
ヒグラシ	けい 計	1			1
ツクツクボウシ	オス	1	4	4	9
ツクツクボウシ	メス		2	1	3
ツクツクボウシ	けい 計	1	6	5	12
クマゼミ	オス				0
クマゼミ	メス				0
クマゼミ	けい 計				0
ニイニゼミ	けい 計	129	17	8	154
けい 計	合計	136	62	39	237



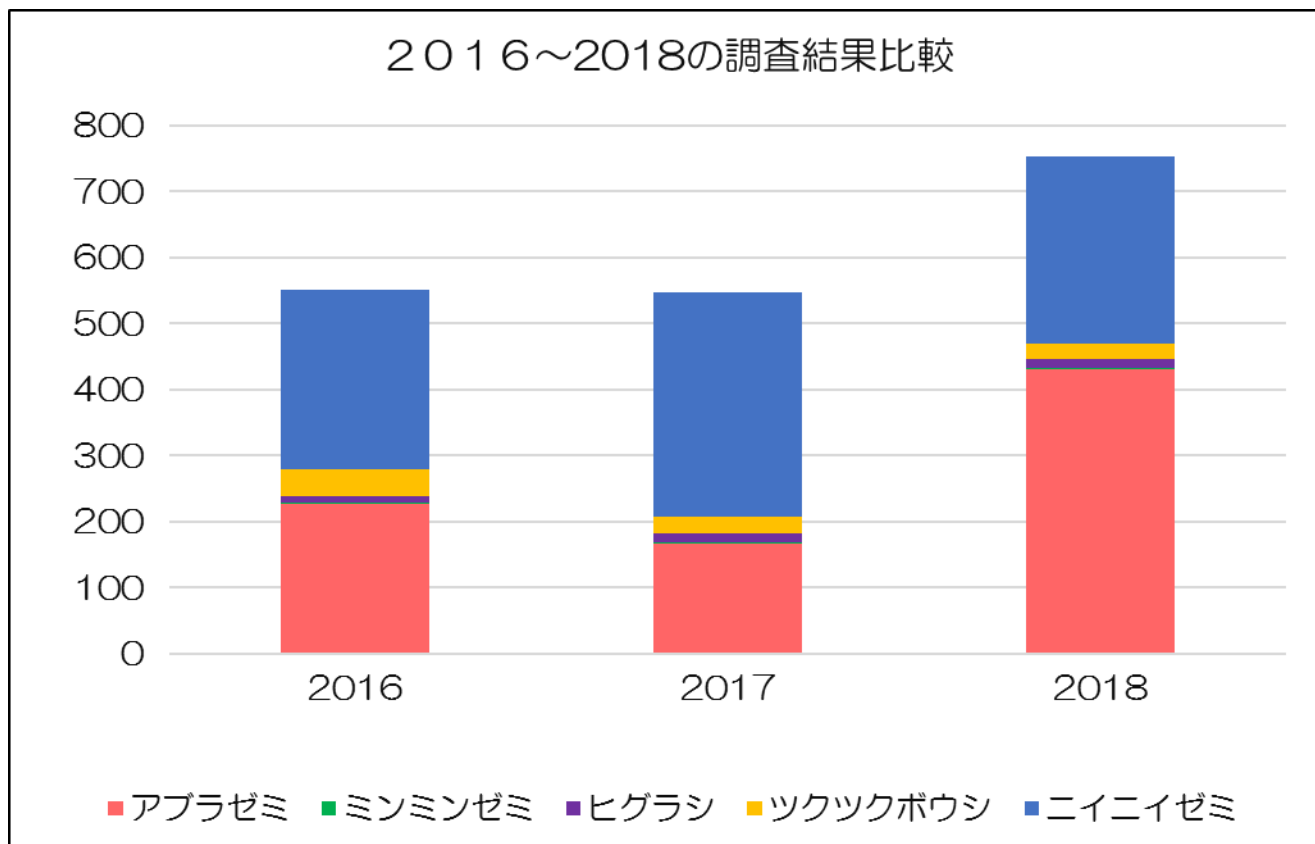
ニイニゼミのぬけがらは特定の木の下の方に多くついており、ついていない木にはまったくついていなかった。ミンミンゼミは2つ見ついているが、現場では同定していないため見つかった場所は不明。

全体の結果

しゅるい 種類	オス・メス	7月24日	8月9日	8月24日	けい 計
アブラゼミ	オス	45	141	27	213
アブラゼミ	メス	8	163	46	217
アブラゼミ	けい 計	53	304	73	430
ミンミンゼミ	オス		2		2
ミンミンゼミ	メス				0
ミンミンゼミ	けい 計	0	2	0	2
ヒグラシ	オス	5	1		6
ヒグラシ	メス	7			7
ヒグラシ	けい 計	12	1	0	13
ツクツクボウシ	オス	1	9	6	16
ツクツクボウシ	メス		5	3	8
ツクツクボウシ	けい 計	1	14	9	24
クマゼミ	オス	0	0	0	0
クマゼミ	メス	0	0	0	0
クマゼミ	けい 計	0	0	0	0
ニイニゼミ	けい 計	244	30	9	283
けい 計	合計	310	351	91	752



2016年～2018年の比較

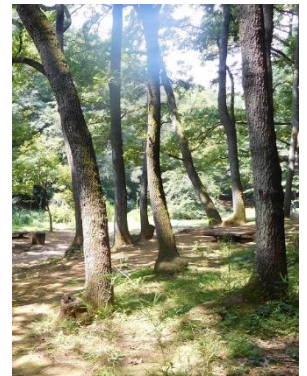


- 2016、2017年ともに見つかったぬけがらはニイニイゼミが最も多かった。しかし、2018年はアブラゼミの割合が57%と最も高かった。調査地Aのアブラゼミの量が圧倒的に多かったためである。特に2回目（8月9日）はアブラゼミが229個というこれまでで最も多い結果になった。この日は台風13号が関東を通過した直後の調査だった。そのため、風雨で地面に落ちたぬけがらがとても多く、通常は取りきれないぬけがら（木の高い所などについているもの）や、強風で調査地外から飛ばされてきたものも含まれている可能性がある。アブラゼミの数が増えたことに関しては、今後も調査を続け、慎重に評価していきたい。
- 2016年、2017年ともに1回目⇒2回目⇒3回目とぬけがらの数が少なくなっている。2018年も調査地BとCでは同様で、調査地Aの2回目のアブラゼミが多かった以外はおおむねこの傾向がみとめられる。
- 2016年～現在までクマゼミのぬけがらは見つかっておらず、鳴き声も確認されていない。
- ミンミンゼミの声はABCすべての調査地で確認しているが、ぬけがらが見つかっているのはCのみで、数も1、2個で非常に少ない。

ちょうさ 調査をしていて気がついたこと

1回目 (2018年7月24日 午前)

- A ニイニゼミのぬけがらがが多い。遠くから一匹だけミンミンゼミの声が聞こえた。ニイニゼミのぬけがらが地面にたくさん落ちていた。
- B ヒグラシのぬけがらは小川の反対側のドングリの木に多く、かなり高い所についている。
- C ミンミンゼミの鳴き声がかすかに聞こえる。ロープ柵にツクツクボウシのぬけがら。7月の調査でツクツクボウシのぬけがらがとれるのは3年目にして初めて。



2回目 (2018年8月9日 午後)

- A 台風通過の翌日。アブラゼミのぬけがらが大量に地面に落ちている。(通常は木の高い位置などにあったりしてとりきれないものまで地面に落ちていたため量が多くなったという印象)
- B 14:30 ヒグラシの合唱が始まるが、昨年ほどのボリュームはない。
- C 例年ニイニゼミが多く見つかる場所で、期間限定の子供の遊び場が開催されていた。多くの木にロープが結ばれており、ぬけがらはほとんど見つからなかった。セミの出てきた穴も少なく感じる。



3回目 (2018年8月24日 午前)

- A ミンミンゼミ、アブラゼミ、ツクツクボウシの声がよく聞こえる。ニイニゼミもまだ頑張っていて、誘い鳴きがよく聞こえる。
- B ツクツクボウシの鳴き声が主流。台風通過後のためかほとんどぬけがらがない。例年ぬけがらが見つかる場所の草刈りがおこなわれた直後だったようで、下草についたぬけがらも見つからなかった。
- C A、Bにくらべてニイニゼミの声が多い。調査中 (AM10:30ごろ) に羽化直後のツクツクボウシを発見。

